

時間外救急診療部

《概要》

当院の時間外救急の対象は、主に二次救急傷病、すなわち比較的重症の急病の患者様です。初期対応医は、患者様の救急傷病に緊急性があるかどうか、また専門医にすぐ受診する必要があるかを見定め、応急処置をした上で院内外の専門治療へのトリアージを行っております。内科系・外科系の時間外救急診療はプライマリ当直制度（初期対応医師制度）を導入し、急病の患者様にできるだけ早く医療サービスを受けていただけるように取り組んできました。

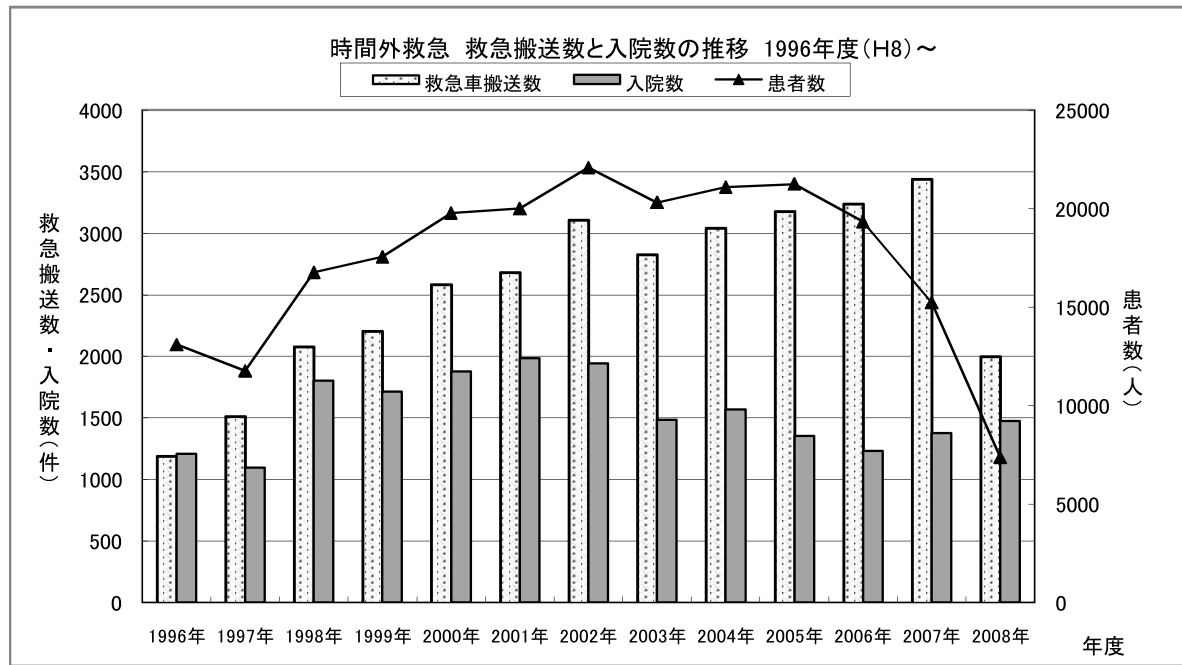
現在の医療事情では初期対応医は若手医師主体ならざるを得ないため、できる限り外科系・内科系両方の上級当直医師を配置し、バックアップ体制を機能させることで安全性を向上させています。各専門診療科オンコール体制、救急当直マニュアルの整備等も引き続き進めました。救急医療研修を希望する新臨床研修医も多く、教育・支援体制として委員会が中心になって症例検討会、各種講習会によるサポートも行っています。

地域住民のニーズに幅広く対応をすべく努力していますが、各医師とも日中の多忙な専門診療業務とともに行っており、体力、気力ともに限界があります。昨今の医師不足のため、2008年6月から内科・外科の救急告示を返上しました。12月から外科の救急告示を一部復活させましたが、現在もまだ十分に機能は回復しておりません。地域全体の救急・夜間・休日診療のシステム整備が急務と考えられます。

《実績》

時間外救急外来数

	患者数		入院数		救急車数	
	合計	平均	合計	平均	合計	平均
1996年度（平成8年）	13,094	1,091	1,208	101	1,188	99
1997年度（平成9年）	11,770	1,177	1,093	109	1,510	151
1998年度（平成10年）	16,765	1,397	1,801	150	2,077	173
1999年度（平成11年）	17,553	1,463	1,710	143	2,204	184
2000年度（平成12年）	19,768	1,647	1,874	156	2,583	215
2001年度（平成13年）	20,000	1,667	1,984	165	2,683	224
2002年度（平成14年）	22,091	1,841	1,941	162	3,105	259
2003年度（平成15年）	20,316	1,693	1,484	124	2,825	235
2004年度（平成16年）	21,087	1,757	1,567	131	3,042	254
2005年度（平成17年）	21,253	1,771	1,354	113	3,175	265
2006年度（平成18年）	19,342	1,612	1,229	102	3,239	270
2007年度（平成19年）	15,230	1,269	1,374	115	3,440	287
2008年度（平成20年）	7,369	614	1,476	123	1,997	166



《業績》

(1) 症例検討会・学習会 (2008.4～2009.3)

番号整理	テーマ	実施日	対象	内容	参加数(名)
1	頭部外傷にて入院後、急速に貧血の進行した1例	2008.12.5	救急外来で勤務する医師・看護師	症例検討	30
2	症例検討会	2009.1.9	医師・看護師・理学療法士・MSW	症例検討	8
3	時間外救急診療・研修医勉強会	2009.2.12	医師・看護師・医事課職員・救急救命士	救急外来症例検討	33